

科目名	精神保健福祉に関する制度とサービス I					単位	2.0
担当教員	吉田 みゆき						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	5214

●授業のテーマ

精神障害者の相談援助活動と法の関わりについて理解する

●到達目標

精神障害者の相談援助活動と、主に精神保健福祉法との関わりについて理解する。

●学習内容(授業概要)

精神障害者の相談援助活動の展開過程史と、精神保健福祉法の成立までの経緯と意義を学ぶ。その上で、法の最近の動向や精神保健福祉士の役割について理解する。

●学習内容(授業計画)

1. 精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉法
2. 相談援助活動と精神保健福祉に関する制度とサービスの相互作用の理解
3. 精神病患者監護法からその廃止まで
4. 精神衛生法から精神保健法へ
5. 精神保健法の概要
6. 精神保健法から精神保健福祉法へ
7. 精神保健福祉法成立の意義と改正
8. 障害者自立支援法の概要とその特徴
9. 障害者自立支援法の廃止と障害者総合支援法の創設
10. 精神保健福祉法の構成
11. 精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割①(指針策定, 入院制度, 退院後生活環境相談員, 処遇)
12. 精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割②(相談援助, 移送)
13. 精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割③(手帳制度, 成年後見制度の活用)
14. 最近の動向について
15. 到達度テストと振り返り

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマについて下調べする。

毎回の授業の感想を提出する。

●成績評価方法・基準

到達度テスト 70%, 確認テスト 30%, 受講態度 10%

●テキスト(必携)

≪No.1≫書籍名:新・精神保健福祉士養成講座6『精神保健福祉に関する制度とサービス』第4版、著者名:編集 日本精神保健福祉士養成校協会、出版社:中央法規出版

●参考文献／その他

『三訂 精神保健福祉法詳解』, 精神保健福祉研究会監修, 中央法規出版.

『精神保健福祉白書 2015 年版』, 精神保健福祉白書編集委員会編集, 中央法規出版

『社会福祉小六法』, ミネルヴァ書房編集部編, ミネルヴァ.

●履修上の注意

精神保健福祉士国家試験受験資格課程履修者は必修である.

授業の中で確認テストを実施するので, 必ず受けること.